

聖典

第84号

会長挨拶



第27期会長 大慈寺 住職
高橋 信弘

第二十七期が始動し早一年が経過するにあたりご挨拶を申し上げます。

会員皆様及び県内ご寺院様には感染拡大が未だ収束しない中にも関わらず、当会活動に對しまして、ご理解・ご協力を賜っておりまして衷心より御礼申し上げます。このコロナ禍が一日も早く収束し、皆様の平穩な日常が戻りますことを切に念じます。

さて、『四無量心』の慈・悲・喜・捨を行ずるとスローガンを定め始動致しました今二十七期であります、予測したとはいえ、やはり様々な課題や困難に伴う一年であったと感じております。

今期の行事は全て開催と中止の両面を考慮しながら準備を進めて参りました。その中で、ソフトボール大会・チャリティバザー等が今年度も中止となりましたことは大変残念でありまし

た。しかし、開催可能なものにつきましては、感染対策の他にも複数の開催パターンを考え準備を進めている状況です。これらについては、各担当委員会の尽力が非常に大きく、会務運営の支えとなっております。また、会員各位にもオンラインの活用にご協力をいただき、今期新たな試みとして支援を模索しているフードバンク・子供食堂に関する研修会等や理事会を実施できておりますことは、一つの成果であり皆様に改めて感謝・御礼申し上げます。

振り返りますと、昨年は東日本大震災の発生から十年となり、各地で亡き方々へ祈りが捧げられている光景を幾度と目に致しました。当会におきましても、大震災発生後より続く慰霊行脚は継続できておりますが、一方で傾聴活動が行えなくなったこともあり、昨年十一月より毎月の月例供養を始め、その都度十・十五名程が随喜しております。今は感染予防の観点から役員

や当該理事のみの案内としておりますが、今後の状況によりましては、会員皆様にも参加の輪を広げてまいりたく考えておりますので、ご案内がありました際には、ご随喜下さいますようお願い申し上げます。

また、本年十一月には、曹洞宗青年

会東北地方集会「宮城大会」の開催を以下の通り予定しております。

【開催日】

令和四年十一月二十五日 常任幹事会

二十六日 宮城大会

【開催場所】石巻市マルホンまきあいテラス（石巻市複合文化施設）

加えて全国曹洞宗青年会「禅文化学林」も併設予定です。詳細につきましては、現在、準備委員会を組織し検討しておりますが、翌年に東日本大震災にて犠牲になられました方々の十三回忌を控えておりますことから、我々に多く求められた供養を柱とした大会に致したく協議しており、今後、運営委員会へ移行した際には、皆様にも詳細をご案内出来まますよう鋭意準備を進めております。

就任のご挨拶でお誓い申し上げます。通り、厳しい寒さに耐え小さな花を咲かせる梅の花のごとく会務運営並びに宮城大会圓成に向けて精進を重ねてまいる所存でございますので、会員の皆様はじめ県内ご寺院様には、倍旧のご指導・ご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。ご挨拶と致します。

台掌

◆会長挨拶 高橋 信弘	1
◆第2回研修会	2
◆東日本大震災 月例供養	3
◆令和3年度特別研修会	4

◆フードバンク研修会会員大会	6
◆サンタピアップ報告	7
◆活動予定・編集後記	8

宮城県曹洞宗青年会 第二回研修会

令和三年十一月二十七日、宮城県曹洞宗青年会第二回研修会が行われました。

今回は二部制で構成し、第一部では石巻市震災遺構大川小学校内にて献花をし、南無大慈大悲聖観世音菩薩像前にて慰霊法要を行い、詠賛歌奉詠と読経をいたしました。

第二回研修会では、石巻市海蔵庵別院様を会場に大川伝承の会で語り部をされている鈴木典行氏を講師にお迎えし、東日本大震災における大川小学校被災当時の様子から現在に至るまでの活動についてご講演いただきました。

これまで宮曹青では様々な形で震災復興活動に取り組んで参りました。この研修で講師先生のお話を通じ、被災されたご遺族の方々とのように向き合っていくべきか、また青年僧侶として何ができるかを原点に立ち返り考究することを目的に開催致しました。

講師先生のお話は丁寧な時系列でご説明いただいたので、当時の状況が細かく知ることができました。そのなかで「このときどうして逃げなかったんだ」、「なんでそんな判断をしたんだ」という言葉に悔しさと悲しさが止まらなくなりました。また、ご自身の被災体験談は壮絶で、更に娘さんを亡くされたとお聞きし心が痛くなりました。今回の研修会を通して、二度と同様の被害が起きてはならないという思い、そして「供養」について改めて考えさせられました。

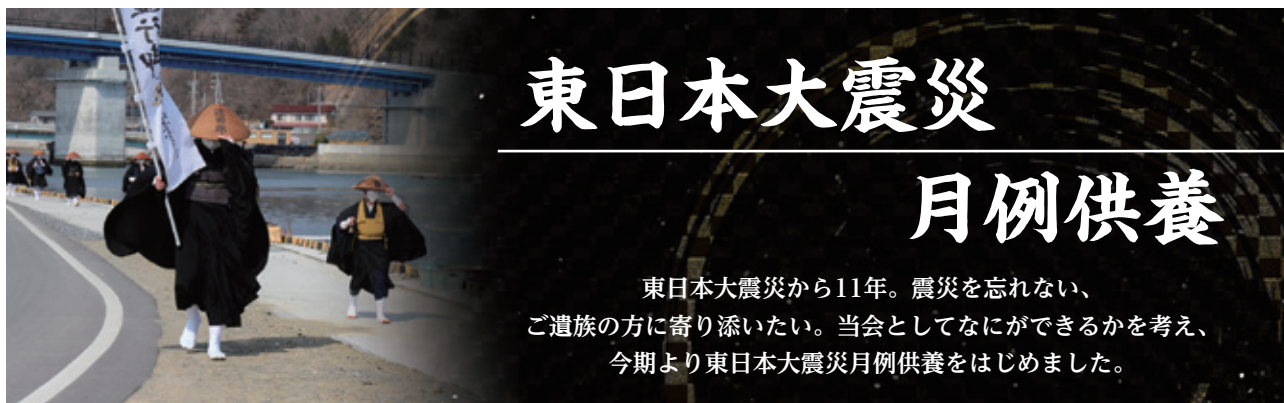


大川伝承の会で語り部をされている鈴木氏



石巻市震災遺構大川小学校内にて献花





東日本大震災で被災された地域で毎月慰霊法要を行っております。令和三年十一月より月例供養をはじめ、これまで石巻市大川小学校、若林区六郷地区、亶理町荒浜、南三陸町歌津地区（ハマーレ歌津慰霊の祠、鎮魂の森慰霊碑）で行い、東日本大震災正当日には石巻市大川地区（海蔵庵様）大川小学校まで慰霊行脚）にて行いました。

慰霊行脚のときのお話です。途中にある各慰霊碑にて読経をしていたのですが、震災正当日ということで多くの人がお参りをされておりました。ある慰霊碑前でシャボン玉を吹いている女性がおられました。話を聞いてみると、亡くなった子供達に喜んでもらいたくてシャボン玉をしているとおっしゃっていました。「子供さん、喜んでいきますよ。」と話したところ「姿が見えるんですか!？」と言われました。「そうだといいなと想像でお話しました。」というと、「そばにいてくれたら嬉しいなと思って。少しでもいいから会いたかった・・・。」と寂しそうにお話されておりました。どれだけ年月が経っても、どれだけ整備が進んでも、亡くなられた方を想う気持ちは変わらないと改めて考えさせられました。

今後も訪れていない地域に参り、慰霊供養を行う予定です。

第1回11月大川小学校



第2回12月六郷



第3回1月荒浜



第4回2月歌津



第5回3月大川地区慰霊行脚



令和三年年度特別研修会

「梅花流の成立からみる、布教の一考察」

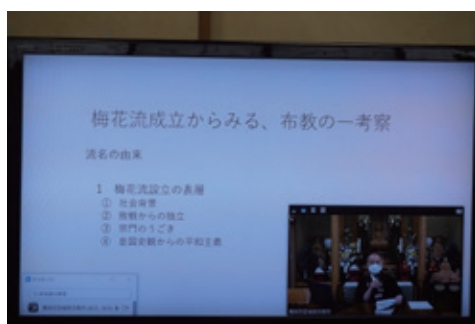
令和三年十二月十三日（日）曹洞宗

宮城県宗務所様を会場に宮殿寺永松隆賢師範を講師にお招きし令和三年度特別研修会「梅花流の成立からみる、布教の一考察」と題し開催されました。当日はコロナウイルス感染防止の観点からオンラインも併用しての開催となりました。

今回の特別研修では梅花と宗門の関わりをご教示いただきました。

梅花Ⅱご詠歌という認識が強いが、ご詠歌と呼ばれるものは宗派問わずに存在しており、曹洞宗におけるご詠歌が梅花流である。梅花流ができた当時の宗門としての動きと歴史から考察し、更には実際の法要との関連など実例をあげながらわかりやすく教えていただきました。

今回は梅花をお唱えはせず、宗門の歴史を学ぶ研修会として開催されました。



コロナ対策としてオンラインも併用



フードバンク研修会会員大会

今年度会員大会は新型コロナウイルス感染予防の為、例年行なっておりませんでしたボーリング大会、懇親会を中止としオンライン受講を併設した研修講義のみの開催となりました。

はじめに会場である第二十一教区洞雲寺様ご本堂に於いて開講式を厳修し、その中で会員皆様の無病息災や商売繁盛等を祈念致しました。

研修講義では『コロナ禍のフードバンクの現状と支え合おう小さな輪』と題し、フードバンク団体として東北で最も歴史があり、行政や多くの企業とも連携し活動されているNPO法人ふうどばんく東北AGAIN様より理事の富樫氏にお越しいただき、同じく理事の高橋氏にはオンライン参加にてフードバンク活動の概要と現状、また課題点や今後の展望などをお話いただきました。

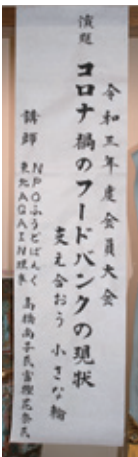
私自身お話を聞くまでフードバンクという団体が具体的にどういった活動をしているのかについてはよく存じておりませんでした。様々なお話を聞く中で子供たちをはじめ満足に食事を取れない方が思っている以上に身近にたくさんいる

という現実にも愕然としました。

また、特に「困っている人の為に」と身を粉にして無償で活動されているスタッフの方々のエピソードや「フードバンク活動は単なる食料支援ではなく、そこから生まれた小さな輪を支え合い、それが広がっていくことで子供たちの明るい未来、そして地域社会の発展や安寧にも繋がっていくれば」というお話に胸を打たれました。

慈しみをもって寄り添い、共に喜び、偏りなく広く社会の為に、といったその活動内容はまさに今期スローガンでもある、『四無量心』慈・悲・喜・捨を行ずるの一つの形でもあり、この研修を通して受講者それぞれに多くの気づきを得ることができたのではないかと思います。

宮曹青会員として、また宗侶として助けを必要としている方々に心を寄せ、今後も可能な限り支援を続けて参ります。



講師を務めていただいた、NPO法人ふうどばんく東北AGAINの富樫氏



コロナ対策の為、オンラインでも行いました

宮曹青主管 カンボジア教育支援活動 サンタピアップみやぎボランティア会

「ハガキリサイクルキャンペーン」中間報告

この一年間で、皆様に収集頂いた書き損じハガキと切手の集計作業を行いました。今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を懸念し、大々的なキャンペーンは行っておりません。

三月四日現在、事務局まで届いているハガキ・切手を集計した数となります。

全国の御支援者様より沢山のご提供を頂きました。誠に有難うございます。

「集計作業」

- 日時：令和四年三月四日
- 会場：サンタピアップ事務局
- 参加：若干名(事務局員のみ)

「集計結果」

書き損じハガキ 合計八、四四八枚
切手 額面換算 合計八五、四四三円

皆様からお寄せ頂いた書き損じハガキや切手は、新しいハガキや切手に変えて県内御寺院様や団体企業様にご購入頂き、その売り上げをカンボジア教育支援費として、活用させて頂いております。



「オリジナル卓上カレンダー2022販売報告」

今年度もオリジナルカレンダーを作成・販売致しました。お陰様でたくさんのご注文を頂き、各事業収益と共に教育支援費として活用させて頂きます。

「カレンダー制作販売数」

三、〇〇〇部 (一部 三〇〇部)
売上合計 九〇〇、〇〇〇円

『古本・CDリサイクル』による支援

皆様のご家庭に、不要になった漫画や文庫本・CD・DVD・ゲームソフト等はありませんか？

あの頃、大切にしていたこの本をもつ一度役立たせたい…是非とも私たちにお譲り下さい。詳細はホームページ、又は事務局までご連絡下さい。

書き損じハガキの送り先

〒986・2299

牡鹿郡女川町女川二七一 女川郵便局留「サンタピアップ」宛

支援金の送り先

郵便振替口座

名 義 サンタピアップみやぎボランティア会

口座番号 0229016148744

サンタピアップ事務局

〒986・2231 女川町浦宿浜字門前六一 照源寺内

TEL: 080 (3144) 3020 (専用)

FAX: 02225 (53) 2492

E-mail: info@santapi.com

ホームページ: <https://www.santapi.com/>



行事予定

* 4月11日(月) 月例供養 山元町

* 4月17日(日) 宮城県曹洞宗青年会 令和4年度定例総会 ホテルニュー水戸屋

* 4月26日(火) 仏法興隆花まつり千僧大般若転読法要(全日仏青行事) 予定

* 5月10日(火) 11日(水) 全国曹洞宗青年会 評議委員会・研修会・定期総会 (全曹青行事) 予定

* 5月23日(月) 宮曹青宗務所共催ソフトボール大会 仙台市海岸公園野球場 予定

※すべての行事は、昨今の事情により変更などある場合があります。

編集後記

三月十六日深夜、宮城県で最大震度六強の地震が発生しました。強い揺れでしたので頭の中で東日本大震災発生の様子がフラッシュバックしました。皆様のお寺やお檀家様など被害は大丈夫でしたでしょうか。強い余震など今後もあるかもしれませんのでお気を付けください。今年度の宮曹青では東日本大震災月例供養を行い、沿岸部を中心に毎月十一日に各地で慰霊供養を行っています。訪れた先々で読経をすると一緒に手をお合わされる方が多くおり、今もまだ悲しみが癒えない人が多くいると感じました。強い地震が起こり、他にコロナウイルスや国同士の争いなど不安になるとばかりで落ち着かず大変な時代になってしまいましたが、人々が一日も早く穏やかな日常に戻ることを願っております。最後に、今回の地震で被害を受けた皆さまに對しまして、心よりお見舞い申し上げますと共に、皆さまの安全と、被災地の日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

(広報編集委員長 時 泰広)



無聖 第84号 (令和4年3月31日発行)

表紙題字 宗務所長 三田村道雄 老師
編集 宮城県曹洞宗青年会
発行人 高橋信弘
事務局 宮城県仙台市青葉区
下愛子字館37 安養寺内
TEL 090-2849-3830 (専用)
FAX 0223-29-4132
URL <http://miya-sousei.com>
E-mail info@miya-sousei.com